



6 月定例会より 報告 (令和 6 年 第 2 回定例会) 7 月 10 日発行

◎北中学校跡地に通信制高校

昨年より閉鎖した市立北中学校跡地の施設の公売が成立。購入者は通信制高校を目的とする事業者でブレーション(株)。この企業は予備校大手の四ツ谷学院を経営している。



計画では約 1 万人が登録され、全員が年間 4 泊 5 日の宿泊学習を行う。そのため年間に、約 4000 人程度が筑西市で宿泊する。また何割かの生徒は通学も希望しており生徒さんが通学する姿も見られる。公売価格は 3 億 5300 万円。



◎明野幼稚園の解体工事が決定

解体工事入札・・・1 億 9000 万円



昨年度園児数の減少により閉園した筑西市立明野幼稚園の施設は、昭和 48 年に建設されたもので建築後 50 年が経過。老朽化が著しいため解体することに決定していた。(裏面の議案質疑を参照)

◎教育長が交替

現教育長の小室高志氏が任期満了で退任し、後任に大森達也氏を市長が任命。議会はこれを承認。

◎市役所の窓口でのキャッシュレス化が実現

筑西市ではこれまで市役所窓口での手数料支払いは、すべて現金で処理されてきました。住民票、戸籍、固定資産評価証明書、その他の証明書を受領して手数料を支払う時は現金払いでした。しかし

多くの市民からキャッシュレス(電子マネー、プリペイドカード払い)の希望があり、今年 12 月より開始することになりました。当面、本庁舎のみの取り扱いです。



——補正予算の主なもの——

◎合併 20 周年記念事業 第 1 弾

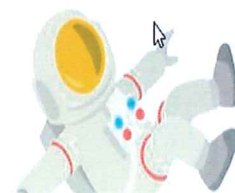
○人気ゲームキャラクター使用料・・・1900 万円
(大手ゲーム会社のキャラクターによる筑西の PR)



- ・市内各所にゲームキャラクターのフォトパネルを設置し、訪れた方に周遊していただく。
- ・花火大会でのミュージックスターマインの DJ

○筑西市こども宇宙プロジェクト・・・47 万円

こどもの笑顔の写真を多数募集しモザイクアートを作成する。これを国際宇宙ステーションへ届ける。



——補正予算の続き——

◎低所得世帯への助成金支給

- ・住民税非課税、均等割り分のみ課税世帯へ給付金
 - ・・・2億6400万円
- ・1世帯当たり10万円を給付(2500世帯)
- ・当該世帯の18歳未満1人当たり5万円給付(280人)



◎地域おこし協力隊の増員事業・・・1500万円

地域おこし協力隊は現在7人体制ですが4人の増員を予定している。
今年度後半から11人体制



◎放課後児童クラブ整備事業・・・2100万円

中小学校、関城東小学校に児童預かり施設を増強する



—議案質疑— ・ ・ 幼稚園解体工事の請負契約

小島質問：明野幼稚園の解体工事の入札は、落札が約1億9千万円で、落札率90.34%。8社が応札しており競争性は十分といえる。しかし、3社が最低制限価格で無効となっている。最低制限価格はもっと低く設定すべきではなかったか？

総務部長答弁：公共工事の入札においては、上限となる設定価格、下限となる最低制限価格を設定するが、ダンピングを防止する見地から最低制限価格は設定価格の約90%程度とするよう国の指導がある。

小島質問：落札業者は元請け業者となり下請け業者に発注するが、その時の価格に関しては最低制限があるか？

部長答弁：行政は、下請け業者の資格は制限するが契約に関しては何ら制約を付けない。

考察：解体工事の下請けは、元請け価格の半値程度で契約されることもあるという。解体工事の入札の場合、最低制限価格を設定価格の20%程度に引き下げても適正な応札が期待できるのではないか。

○一般質問



○アルテリオの空調改修工事に先立って

小島質問：現在不調であるアルテリオの空調の改修に関して議論されている。しかしガラス張りの建物の空調負荷が大きいことは素人でも分かる。ガラス面の遮光断熱をまずは先行して行うべきではないか。

部長答弁：ガラス面の施工につきましては、建物内部のガラス面全体に足場を設置することになり、美術館を含む施設全体の利用を停止するなど関係者への多大な影響が想定される。そのため、ガラス面の改修は、休館期間の短縮、そして経費削減の観点からも空調設備と同時施工が望ましいと考えております。

小島質問：あの建物に簡易な方法で遮光するにはいろいろな提案がある。ブラインドは大がかりな足場を使わなくても設置できると聞く。3階美術館の出口付近には大きなカーテンがかかっているが、簡易ではあるが効果があるときいている。これは提案にとどめておきます。



アルテリオ

小島質問：我々議会に提示された空調設備の改修費用は18億円という巨額であり、3月定例会で削除となった。議論を続けましょうということです。

4年前、板谷波山記念館の新館建設の検討委員会があり新館を創るという基本構想が策定された。新館建設費は㎡当たり59万円と試算されていた。これを基にすれば、18億円では3000㎡の美術館が建設できる。これは現美術館の2300㎡より大きい。であれば、現美術館を閉鎖つまりアルテリオの3階以上のフロアを閉鎖し、板谷波山記念館と併設の新美術館を建設することを提案したい。

市長答弁：現在の板谷波山記念館敷地には、生家、そして



板谷波山記念館

て陶器を焼く窯を含めた作業小屋があり、美術館を建設することは難しい。しかしながらアルテリオの空調改修工事に関しては学識経験者を含め組織を立ち上げて一度見直したい。